

ふれあい放水路

分流堰上を走る県道
県道出雲三刀屋線が開通しました

コラム: ~2012年は昭和47年7月水害から40年~

神戸川堤防点検を実施

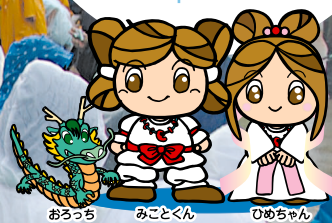
尾原ダムが竣工

1000年の森づくり植樹祭を開催しました

2012 平成24年
ふれあい放水路

vol. 200

Izumo Office of river
Chugoku Regional
Development Bureau



1000年の森づくり植樹祭

今年度の植樹祭はあいにくの雨模様でしたが、未来の緑豊かな「出雲の国」のために、皆さんの手によって約2,400本の苗木が植樹されました。

1000年の森づくり 植樹祭を開催しました



さる6月19日、今年で14回目を迎える「斐伊川放水路1000年の森づくり植樹祭」を開催しました。当日は雨模様の中、出雲市内の小学生と一般参加の方々約550名に参加頂きました。



エリア別に各組別れているいろいろな苗木を植えます。

植樹苗を紹介する宮脇博士。皆でそれぞれ声にして呼びました。

この苗木を皆で植えるよ



最後に記念撮影をしました。

平成12年から約6万本の植樹を続けています



植樹後の斜面

これまでの14回の植樹を通じて、約6万本の木々を植えてきました。植樹にあたっては横浜国立大学名誉教授 宮脇昭博士によって提唱された、土地本来の樹種(潜在自然植生種)を植樹することにより、短期間で在来出雲の自然にとけこんだ森林が形成されることを期待しています。

工事の発注情報

●斐伊川放水路境橋整備外工事
H24.6.6~H24.11.30

松江土建(株)

●斐伊川放水路管沢地区整備外工事
H24.6.19~H24.12.28

大福工業(株)



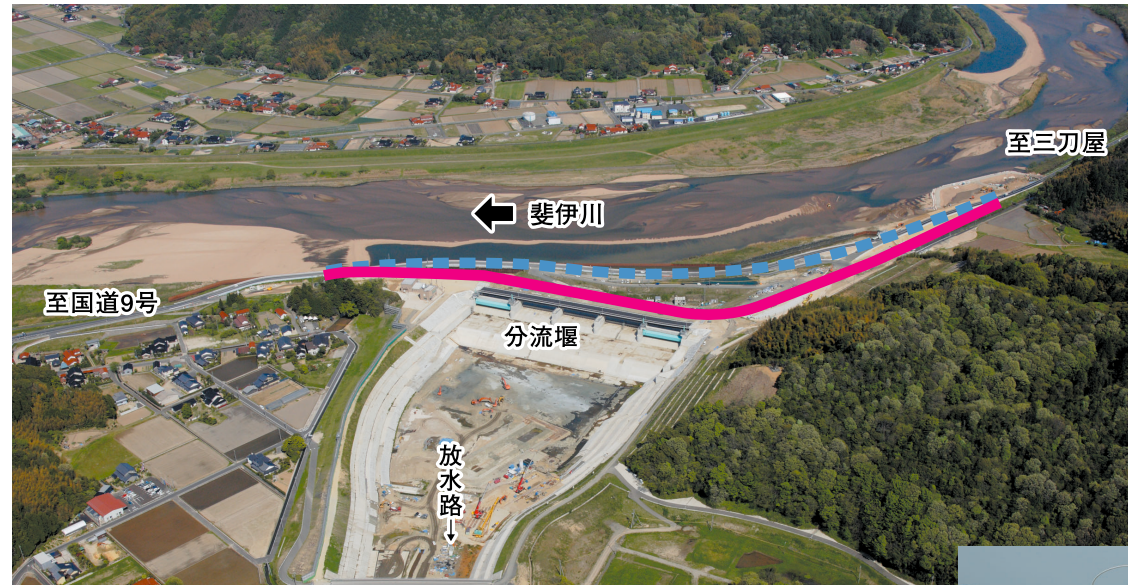
国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶町有原町5-1 tel (0853) 21-1850 fax (0853) 22-7829
E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

お知らせ

分流堰上を走る県道 県道出雲三刀屋線が開通しました

分流堰の管理橋部分が、県道出雲三刀屋線として利用できるようになりました。これまで段階的に進められてきた道路工事が合わせて完了し、最終的な道路の形状になりました。分流堰周辺では引き続き工事が進められており、大型車両の往来などで今しばらくご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



いよいよ分流堰の管理橋も利用できるようになりました!

● これまでの路線
■ 開通区間



分流堰の上を走る県道

分流堰周辺の工事の見通し

県道開通後は今まで使用していた仮設道路の撤去を進めて参ります。また、仮設道路の撤去と併せて、出水期中(6月26日~10月20日)は川底の洗掘を防止するための根固めブロックの製作を行います。出水期明けには製作した根固めブロックの設置や堤防の侵食を防ぐための護岸の整備を進めて参ります。

お知らせ

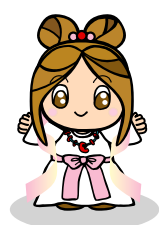
神戸川堤防点検を実施

今年の水期をむかえる前の4月20日、神戸川の堤防点検を実施しました。当日は国土交通省職員19名および緊急時対応員6名の計25名が堤防・護岸・樋門などの異常を徒歩により目視点検で確認しました。



点検結果

点検の結果、異常があると認められた箇所は、約90件ありました。早急な対応が必要なものについては詳しく確認して修繕を行い、それ以外の箇所についても経年変化等を確認するとともに、必要に応じて修繕を行っていきます。



点検結果より



1班:水路内の草繁茂



2班:法面のクラック



5班:排水施設の破損



6班:コンクリート剥離



column 忘れてはならない教訓 次代に引き継ごう ~2012年は昭和47年7月水害から40年~

今から40年前の昭和47年7月、断続的な大雨により、宍道湖が氾濫し、松江市や出雲平野東部地域が7日間にわたって浸水しました。斐伊川では流域全体で家屋の全半壊114棟、浸水家屋約25,000棟の被害を受け、神戸川では流域全体で家屋の全半壊15棟、浸水家屋約1,300棟の被害を受けました。また出雲空港は10日間に渡って閉鎖され、水が引いた後の市街地でも消毒、し尿汲取り、ゴミ処理などの事後対策ほか、流域の生活に多大な影響を及ぼしました。

斐伊川・神戸川流域に戦後最大の被害をもたらした47年7月水害。この経験も踏まえ、昭和51年に斐伊川水系と神戸川との総合的かつ一体的な治水計画として斐伊川水系工事実施計画が策定されました。

40年という節目を迎えた今年、その経験を風化させることがないよう、伝えていくとともに、改めて斐伊川・神戸川流域の治水について考えてみてはどうでしょうか。

出雲河川事務所ホームページでは、昭和47年7月水害時の写真や40年の節目に催される取り組みなどについて紹介しています。

http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/04_know/04_know_02_02_01.html

出雲河川事務所 検索



松江市大輪町



旧木次町

松江市街地で約2万戸浸水



水が引き始めた頃

お知らせ

尾原ダムが竣工

さる6月3日に奥出雲町立町民体育館で斐伊川・神戸川の治水対策3点セットの1つである尾原ダムの竣工式を行いました。竣工式には、島根県知事をはじめ、地元選出国會議員や自治体関係者、地権者、工事関係者等317名の出席を頂きました。



尾原ダムサイト(H24.4撮影)

尾原ダム建設事業は、昭和47年7月水害を契機に策定されたいわゆる3点セット(上流域のダム建設事業、中流域の斐伊川放水路事業、下流域の大橋川改修と宍道湖及び中海湖岸堤の整備)の1つで、中流域の放水路とともに下流部の洪水の低減や河川環境の保全、島根県東部地域3市(松江市、出雲市、雲南市)への水道用水の供給を目的としています。



くす玉開披

ダムサイト右岸にて来賓の方々及び温泉水・小学校・温泉幼稚園の子供たちによる、くす玉開披・記念植樹が行われました。